



里山にひと足早い春の訪れ

No.1

総領で節分草自生地公開・2/20-3/13

節分草の自生地として日本有数の規模を誇る総領町で、2月20日から3月13日の期間、7カ所の自生地が公開されました。

メイン会場の道の駅リストアステーションでは、期間中「光のドーム」で節分草ボランティアガイド（花守り）が来場者に節分草の魅力を伝えたり、開花状況を案内し



▲ノルディックウォーキングで節分草の自生地を巡る

たりしました。また土日を中心に、各種団体によるバザーの出店や絵手紙教室・山野草写真講座なども行われ、多くの人でにぎわいました。

3月13日には「節分草祭」が開催されました。節分草自生地を巡るノルディックウォーキングも行われ、参加者はひと足早い里山の春の風景を楽しみながら約3kmのコースを歩きました。

広島市内から訪れた70代の女性は「毎年節分草の開花を楽しみにしている。また来年も訪れたい」と話していました。



▲多くの人でにぎわうバザー

22の芸能団体が華やかな舞台

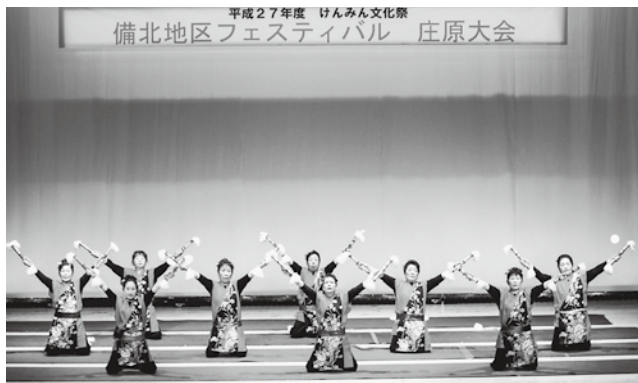
No.3

けんみん文化祭備北地区フェスティバル庄原大会・3/13

平成27年度けんみん文化祭備北地区フェスティバル庄原大会が、庄原市東城文化ホールで開催されました。

けんみん文化祭は、広島県の豊かな自然と伝統に育まれた文化の発展、継承、育成を図ることを目的に、県民の文化活動の発表、鑑賞、交流の場として、平成3年から毎年開催されています。

その予選も兼ねたこの大会は、庄原市文化協会に所属する団体の中から、22団体約300人が出演。市内全7支部から出演があり、合唱、銭太鼓、邦楽、大正琴、日本舞踊など多彩なステージが繰り広げられ、終日満席の客席からたくさんの拍手が鳴り響いていました。



▲高杉会東城支部さわやか会による銭太鼓

本に目を輝かせる子どもたち

No.2

西城小で読書祭り・3/10

本に触れる「読書祭り」が西城小学校で開催され、児童たちが昨年度1年間読んできたおすすめ本の紹介や、ダンボの会による読み聞かせなどが行われました。

児童たちによるおすすめ本の紹介では、恥ずかしがりながらも明るい声で、読みどころや感想を一人一人が自分自身の言葉で伝え合いました。

また、ダンボの会の絵本の読み聞かせでは、子どもたちは終始笑顔で歓声を上げながら、目を輝かせていました。

「僕、1年間で100冊以上読んだんよ!」と誇らしげに胸を張る男子児童の姿もあり、子どもたちが本を通じて伸びやかに育っている様子がうかがえました。



▲おすすめの本を紹介しあう児童たち



豊ノ島関ら人気力士が訪問

No.7

歓迎セレモニーで庄原場所をPR・2/24

本年秋に開催する大相撲秋巡業「庄原場所」をPRするため、安治川親方（元幕内土佐豊）と豊ノ島関、正代関の3人が市役所を訪問しました。

市民ホールで行われた歓迎セレモニーでは、豊ノ島関が「庄原場所に三役で帰って来られるよう精進し、大いに盛り上げたい」と抱負を述べるなど、3人がそれぞれ庄原場所の開催をPRしました。その後、力士のサイン色紙が当たる「じゃんけん大会」などで、会場は盛り上がりました。来場した市民など約200人は、力士と写真撮影や握手などで身近なふれあいを楽しみ、「お相撲さんは想像以上に大きくて、びっくりした」「子どもを抱っこしてもらって、いい記念になった。庄原場所にも絶対に行きたい」などと話していました。

大相撲秋巡業「庄原場所」は10月26日、庄原市総合体育館で行われる予定で、チケットの販売は夏ごろからの見込みです。



①3人を囲んで記念撮影
②安治川親方③豊ノ島関
④正代関⑤じゃんけん大会で盛り上がる会場

土笛作りと映画を楽しむ

No.9

口和郷土資料館で映画上映会・3/20

口和郷土資料館で土笛作りと映画「人生いろどり」の上映会が行われ、86人が鑑賞に訪れました。

この映画は、葉っぱを地域資源にまちおこしに成功した実話が元になった映画とあって、葉っぱをかたどった土笛作りも映画上映に先駆けて行われました。

講師に東本町在住の原博巳さんを迎え、三次市、安芸高田市などから参加した約10人が、葉っぱの形やふくろうの形をした土笛を思い思いに作成しました。

安部博良館長は「今後もっと多くの皆さんに映画を見てもらえるよう、楽しい映画を上映していきたい」と話していました。



▲原さん(左端)の指導のもと土笛作りに取り組む参加者

高野の特産品が大人気

No.8

大崎上島町すみれ祭りで高野町をPR・2/20-21

本市と交流のある大崎上島町で開催された「第3回大崎上島町産業文化祭すみれ祭り」に、高野町から「道の駅たかの」「高野りんご加工組合」などが出店しました。

初日はあいにくの雨でしたが、翌日は朝から晴天に恵まれ会場は多くの来場者でにぎわいました。出店ブースには長い行列ができ、白菜などの雪の下野菜や高野産りんごを使ったアップルパイ、りんごジュースなどが飛ぶように売れていきました。

販売を担当した道の駅たかの須安道秀副駅長は「来場者に高野町に関心を持ってもらえた。今後も積極的に高野町の魅力を発信していきたい」と話していました。



▲にぎわう出店ブース前

紙飛行機のギネス記録に挑戦!

No.4

庄原市折り紙ヒコーキ大会・3/12

北自治振興区主催による第11回庄原市折り紙ヒコーキ大会が、庄原市総合体育館で開催され、幼児から中学生までの親子38人が参加しました。

参加者はまず、A5サイズの折り紙を使って紙飛行機を作成。講師の折り紙ヒコーキ協会会長戸田拓夫さんから、折り方の順序やコツ、長い時間飛ばす秘訣などを教わりながら2種類の紙飛行機を完成させました。

その後、投げ方や調整の仕方を教わり、幼児、小学校低学年、小学校高学年、一般の4部門に分かれ、滞空時間（紙飛行機が手を離れてから地面に触れるまでの時間）を競いました。

小学校高学年の部で優勝した枯木結翔くん（東小4年）は「うまく投げることができた。もっと記録が伸びるよう研究して来年も優勝したい」と喜んでいました。

滞空時間のギネス記録保持者でもある戸田さんは「記録を伸ばすには、研究と練習を重ねることが大切です。折り紙ヒコーキに限らず何事も成功には一つのことを続けること。皆さんも自分の好きなことをやり続けてほしい」と話していました。



①より長い時間飛ばせるよう、調整し試投②戸田さんから折り方を教わる参加者③ギネス記録29.2秒に挑戦!

市民の熱い思いを届け激励

No.6

庄原市カープ応援隊が沖縄キャンプ訪問・2/22

庄原市カープ応援隊が広島東洋カープ沖縄キャンプを訪問し、庄原産米や比婆牛などの特産品を贈呈しました。

沖縄市のコザしんきんスタジアムに到着した応援隊は、練習風景を見学した後、緒方孝市監督、小窪哲也選手会長に特産品の目録を手渡し、今シーズンの奮闘をお願いしました。応援隊を代表してあいさつした土井幹雄実行委員長は「庄原の特産品を食べて、今年こそ優勝を!」と熱い思いを伝えました。

昨年惜しくもクライマックスシリーズ進出を逃したカープ。今シーズンは「真赤激」のスローガンのもと、悲願のリーグ優勝を勝ち取るよう、庄原から熱い声援を届けましょう。庄原市カープ応援隊の参加申し込みは、専用番号（☎0824-73-0919）まで。



▲緒方監督(右)、小窪選手会長(中央)へ目録を手渡す土井実行委員長

地域食材をおいしく調理

No.5

比和町越原中山間地組合が体験教室・2/28

比和町の越原中山間地主催による、「おっぱら寄せ豆腐づくり」と「蕎麦打ち」の体験教室が開催され、町内外から約20人が参加しました。

参加者は比和町在住の渡部徹さんの指導を受けながら、地元の豊かな自然の中で育てられた大豆とソバを使って「寄せ豆腐」や「豆腐ギョーザ」づくり、「十割蕎麦」打ちに挑戦しました。

初めて参加した30代の女性は「豆腐づくりでは、初めなかなかきれいな形にならず上手くできませんでしたが、貴重な体験ができて楽しかったです」と満足そうに話していました。



▲豆腐づくりの様子